



十勝勤医協 友の会ニュース

医療法人 十勝勤労者医療協会

帯広市西9条南11丁目1番地

0155-21-4718

発行責任者 今野 光昭

URL: <http://www.tokachi-kin-ikyo.or.jp>

E-mail: soshiki@tokachi-kin-ikyo.or.jp

頌春



本年もよろしく お願いいたします

医療法人十勝勤労者医療協会

理事長 深町 知博

専務理事 今野 光昭

常任理事 片桐 正晃 渡辺 景子

瀬川 高志

理事 浅沼 建樹 阿部 将宏
石澤 英子 稲葉 典政
内田 真紀子 梅津 美剛
小倉 浩夫 小田原 勲
杉野 智美 坂本 圭
村上 隆久 山本 鉄雄

監事 木田 将実

他職員一同

友の会の皆様、新年明けましておめでとうございます。さて、明日、いよいよ総選挙投票日です。このあいさつが皆様のところへ届く時には、結果が出ているわけですが、現時点で想定される最悪の結末は、自民単独で3分の2以上の議席を確保してしまうことです。そうなれば、一気に憲法9条を変え、安倍首相の望むアメリカ追従の軍隊が作られる。背筋がぞつとするシナリオです。

選挙結果の如何に関わらず、患者さん、利用者さんに、安全・安心の医療、介護を、今の私たちができる最大限の努力をして提供していくことに変わりはありませんが、これからの地域包括ケア時代に応じて、十勝勤医協も従来の医療、介護の内容や枠組みを変えざるを得ない時期にきています。



理事長 深町 知博

地域にねぎした安全・安心の医療・
介護を、時代に合わせてすすめます



今年はおんなな年に!!

めいじつこう間の3年間

帯広病院薬剤師
山口 章江



札幌から帯広へ引越して3年が過ぎ、特に昨年は調剤薬局から病院内薬局への転職もあつたりと、めまぐるしい毎日でした。そんな多忙な毎日でも、沢山の職場の仲間を支えられていることを実感しています。

平日の忙しさを癒すのは、休日のドライブや小旅行。夫と二人で十勝周

「仲間」と共に、仕事も趣味も頑張りたい!

ケアセンター白樺
療養棟看護師
大高 洋子



1993年十勝勤医協に入職、病棟看護師として働き、1998年老人保健施設ケアセンター白樺に異動。今現在、若いスタッフのパワーと元気をもらいながら働いています。

振り返ってみるとあつという間に時が過ぎたよ

方が食べられるようになってきたりと、嬉しいことです。日常生活のケアやリハビリテーションを行い、1人1人に合ったケアを提供して、笑顔で元気に毎日を過ごしていただ

るよう援助していきたいです。今年、年女です。健康で元気でいられるよう、体力づくりと大好きなバレエを無理なく頑張っていきたいです。

わが子に向けて

ケアセンター白樺
介護福祉士
西村 正直



昨年1月に子供が生まれました。一日一日新しい事に触れ・学ぶ子供を見ていると、家族の温かみや優しさをあらためて実感します。また、子供

たちに関する報道を見聞きするたびに、わが子と重なり歯がゆさを感じます。我が子に限らず、子供たちが「生まれた場所で将来を左右される」、そんな格差社会がなくなる様に、子供を持つ親として一人の人間として、社会と対話し続ける大人になれるよう、新しい一年を学びの年にしたいと思

「しっかりと前を向き・学んで行きたい!!」

ケアセンター白樺
管理栄養士
長谷川美幸



「今年はおんなな!!」という事で、振り返ると勤医協に入職し、はや22年がたちました。

長いようですが、あつという間に過ぎていく感じがします。現在、老健で働き色々な方と接し、日々学ぶことが多く感謝しています。介護状況や社会保障はどんどん悪くなる一方で不安な世の中になっていきますが、しっかりと前を向き、いつまでも老健の利用者さんが美味しく食べて・生き生きと元気に過ごして行けるようこれからも頑張りたいと思います。また、研修会などにも

平和について

音更北友の会
中嶋 晴子



昨年6月に農協年金友の会で九州旅行ができた

した。その中で、特に鹿児島県南九州市にある「知覧特攻平和会館」では、あらためて戦争の恐ろしさ、平和の貴さを実感しました。1945年の沖縄戦で1,036名の特攻隊員が戦死しました。知覧基地を主軸として、

積極的に参加し刺激を受けて自分自身を磨いて行きたいと思

の子供達についていけるよう体も鍛えて、体力が落ちないように、そんな1年にしたいと思

あなたと関係者をつなぐ月刊誌

MIN-IREN 好評発売中

いつでも元気 1月号 380円

巻頭エッセイ / 僕は言い続ける なかにし 礼

元気スペシャル

地域に根ざした支えあい
香川・福島・山形

特集1 **おしゃれに憲法を語ろう**
11月号・太田晴子さん×12月号・岡部敬彦さん

特集2 **線維筋痛症** 村山 隆司

食と健康 読者のハガキから 各地のお雑煮

発行＝鹿保健医療研究所 〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター6階 電話 03(5842)5656(代表) FAX 03(5842)5657

2014年 年男年女

万世・都城基地、台湾、熊本などの基地から出撃しました。10代の少年飛行兵、学徒出陣の特別操縦見習士官が、片道だけの燃料で飛行機もろとも敵艦に体当たりして戦死したのです。「戦争のむなしさ、平和の大切さ」がありがたさ、命の尊さを訴え、後世に正しく語り継ぎ恒久の平和を祈念しています。

新年にあたり、平和憲

法を守り活かすこと、「集団的自衛権」は「ダメよ、ダメダメ」です。

わたしの希望

札内東友の会

鈴木志摩子



年齢は追いつき、追いつくことはないかわかっています。この歳になるとみんな同級生のように見えてしまうのが不思議。そろそろ身辺を整理して、エンディングノート



に書き込もうかなと思いつながらペンが進みません。もう少しイイ世の中にしたいし、一人ぼっちの間はいないか気になって、今日も走り回っています。

平和憲法があるこの日本で、再び戦争が起らないように、みんなの願いが届く政治になるように。これが72歳を迎える私の希望です。

年男を迎えて

緑ヶ丘友の会

片石 祐一



私は今年6回目の年男、72才になります。なんと早いことでしょうか。実感がありませんが、でも現実です。ここまで長生き

できたことに感謝し、さらに大きな目標を持つことにしました。7回目の年男を目指して、毎日フランスのとれた食生活、そしてマラソン。勤医協友の会活動を実行していけば、必ず目標に到達できると信じて楽しくこの1年を過ごしたいと思っています。

「いつでもどこでも誰もがいつまでも」

いのちの重みが、何よりも大事にされる社会を求めて 歩みつづけようではありませんか



十勝勤医協友の会連絡協議会

会長 高野 幸雄

明けましておめでとうございます。

いつの時代でも、私たちの願うものは変わることはありません。

それは、「戦争のない平和な社会」「原発をゼロにし、放射能汚染の心配もなく安心して生活できる社会」「誰もがよい医療・介護が受けられる社会」であります。

そのため、昨年の「秋の大運動月間」でも、これらの課題を中心に掲げて取り組んできました。

安倍政権が閣議決定で強行した「集団的自衛権行使」への道は、明白に憲法9条（戦争放棄）・96条（憲法改正手続き）・99条（憲法尊重擁護義務）違反であります。

「原発再稼働」の動きは、万が一事が起きれば、日本という国を壊滅状態にしてしまうほどの危険性を及ぼす「愚かな行為」です。

度重なる医療・介護制度の改悪は、患者を病院から施設や在宅へと追い

出し、介護施設でも在宅へと追い出し、病める人たちが路頭に迷っている状況にあります。「患者申し出診療」システムを新設し、保険適用外医療を限りなく拡大していく、まさに「国民皆保険制度」の崩壊につながります。

介護保険からの「要支援1・2」外しは、「介護の社会化（これからは、介護は個人の問題ではなく社会全体としてみまう）」という美辞麗句で始まった「介護保険制度」そのもの

の解体を意味しています。そのために私たちは、「秋の運動月間」にそれらの課題を挙げて取り組みを展開してきました。

その最中に、突然「総選挙」が降って湧いてきました。勿論、その主たる要因は、安倍政権の暴走に対する国民世論の高まりがあったことは言うまでもありません。

私たちの進めていた「秋の運動」で掲げた課題そのものが、今回の総選挙の重点課題と一致するものとなりました。

2014年12月14日、国民の審判が下りました。「自公325 3分の2超」「民主増73 共産躍進21」。これは翌15日、道新朝刊の見出しである。

この結果が、あらゆる分野で民意に背き暴走し続けた「安倍政権」に対する、国民の審判なのだから。私はそうは思わない。

「小選挙区制度」や投票率（過去最低52.66%）・絶対得票率（24.5%で75%の議席確保）のことなどがその思いの根底にある。

その一方で、「この道しかない」との安倍総理の言葉に対し、「その道は間違っている」と、具体的に事例を上げ論破し続けてきた共産党が躍進したことは、限りなき喜びを感じている。

友の会大腸がん 無料検診はもう お済みですか？

十勝勤医協では40才以上の友の会員の健康を守る為、年1回無料大腸がん検診を実施しています。昨年度は十勝で5,000名を超える方が受検されています。

病気の早期発見・早期治療に繋げる為、是非この機会をご利用下さい。

※問い合わせは各十勝勤医協事業所まで

友の会の皆様の特定健診は当院で

健診内容
身体測定・胸囲・血圧・尿検査
血液検査 貧血検査、肝機能検査
血中脂質、血糖検査、心電図
胸部レントゲン（友の会員のみのみ）

対象と料金
・帯広市国保で40歳～74歳の方（無料）
・保険によっては受検できない場合がありますので、お問い合わせください。

帯広市民健診
35歳～39歳 国保の方は無料
国保以外の方は500円

その他
帯広市75歳以上の方の健診 無料
上記以外の方で健診ご希望の方はご相談ください。
友の会健診（2000円）も受検できます。
音更町民の特定健診は柳町医院で受検できます。

※受診券と保険証を持ってご来院ください

